

境界

哀しみを

痛みを

偽善としての造形美に変換する

コマーシャリズムの蔑みの微笑

包囲され

抉るように

共感を求めている

休みなく、隙間なく

嗜好の共通のみを求める者にとって

譲歩ほど不快なものはない

音もなく光るダイオード

失われた静謐

自ら求めるのではなく

神経をくすぐり、錯覚を生み出す

自由とは、こんなものか

家畜と変わりはない

邪推に満ち満ちた関係性

回避され、交叉しない動線

発酵・蓄積する嫉妬

対象物を見失った憎悪

意思が意思を求め

私、というものは透明になってゆく
消滅ではなく
質量だけが消えてゆく

幽霊のような群衆達へと
意思が売買される
生鮮品とは言えない
意思を食し、また食される

「用意してやるよ」という微笑
「御前自身の時間を代金として」
大衆はそれを望んでいる
それが牢獄であろうとも

(2014.3.9)